

高浜あおぞら保育園

青木町の閑静な住宅街に位置しており、特徴のある建物が印象的である。テラスに出ている園児と付近の住人が挨拶を交わしたり、野菜の育て方を教えてもらうなど地域に密着した保育をしている。

建物内はバリアフリーのカーペット敷きで、一年中裸足で過ごすことができる。テラスは芝生で砂場と滑り台があるが、靴を履く寒い時期以外は裸足で遊んでいる。保育室は2室あり、時間や活動内容によって園児が安心して心地よく生活できるよう工夫している。

給食時は、一室がランチルーム、もう一室が午睡ルームに分けられて食事が済み次第昼寝ができるよう工夫されている。また、活動を仕切るなどして柔軟に対応している。

保育士は優しい言葉遣いで子どもに接しており丁寧な印象である。新聞紙をちぎる、丸めるなどの素材の感触や音などを感じる遊びを楽しんでいる際も保育者の優しい言葉がけで進められている。

保育者が、テラスで育てているプランターの野菜についている虫を捕まえて、幼虫から成虫になるまで育ててその成長過程を子どもたちと楽しみながら観察している。獣医師資格を持つ保育者がいるためか、脱皮したカニの殻、ザリガニの殻などがイラスト付きで分かりやすく展示しており、ほかにはない工夫が見られる。

遊ぶおもちゃは整理されており、職員がケースを出して遊ぶように促している。給食前になると自分の寝るスペースにぬいぐるみを寝かせお布団をかけるなどする姿があり、食後の自分たちの過ごし方をよく理解している様子が見られる。

吉浜幼稚園

高浜市の北部に位置する公立幼稚園である。静かな住宅街の中にあり、おだやかな環境である。

吉浜小学校、吉浜交流館に隣接しており、連携・交流がされている。吉浜まちづくり協議会と園児が「菊」を育てる活動は地元で親しみもてる取り組みとなっている。

園舎が改築されて、子どもたちは安全に清潔に生活できる環境にある。

子どもたちの発達にあった道具・教材・場が工夫されており、自発的に遊びが展開できるように考えられている。また、自発的な遊びと保育者が意図した遊びを展開する保育と両面を大切に考えられた保育がなされている。

日々の保育の振り返りを大切にしていることから、指導案・発達状況の記録がきちんとされている。

吉浜さんさん保育園

近隣には公園や寺があり、自然にも恵まれた環境に位置している。名鉄三河線が近くを通っているが、騒音が気になるほどではなく遠足に利用できるなど立地としては恵まれている。園庭は大きくはないが、子どもたちが順序よく遊んでいる様子が見られる。

まちづくり協議会の協力を得ながらプランターや近くの畑で野菜を育てるなど、食育も進められている。

園舎は大きな梁が見えるなど木造のあたたかい雰囲気、各部屋、水回りなども清掃が行き届いており、衛生管理も配慮されている。

穏やかな気候のなか園庭で遊ぶ子、室内でお絵かきやおもちゃで遊ぶなど、その子自身が遊びを選んで活動ができています。トイレや給食室の案内ボードの言葉は、子どもがイメージしやすいもので書かれている。

年齢ごとに遊びや教材、題材が提供されており、のびのびと活動できる環境になっている。

玩具や造形の材料など、レジャ・エミリアアプローチを取り入れており子どもの主体性を大切に保育が組み立てられている。それは、子ども同士で順番を決めるなど単なる遊びではなく学びへとつながる活動になっていると見受けられる。

それぞれの場面を見てみると、部屋には節分のお面などがかかっており、子どもたちが次にどんな活動になるのか話し合う姿も見られる。発表会間近だと、発表のシナリオ、人の配置などがみんなでき共有できるように絵や図にしてあり、子どもたちの意欲をひきたせている。乳児クラスでも、子どもと保育士の信頼関係がしっかりできていて穏やかな時間が流れている。

よしいけ保育園

県営住宅、雇用促進住宅、新興住宅に囲まれている園である。

園舎に隣接しているデイサービス、支援センターなどいろいろと見て触れて体験できる環境である。

在園児の3分の1程度が外国籍であり、異文化を体験する機会を設け、行事の一環として取り入れられている。

0、1、2歳児保育は育児担当制を取り入れ、愛着関係を大切にしている。園児へのかかわり方は、肯定的に受け止められ安心して生活できる保育がなされている。

また、管理栄養士による食育に力を入れた保育がされている。